



高本 邦治
(町)

ほう ちょう しゃ 傍聴者の声

傍聴者数のべ 63人



村田 徹
(平川)

法律の改正により、来年（平成28年）夏の参議院議員選挙から選挙権年齢が現在の20才以上から満18才以上に引き下げられ、新たに選挙権を得る若い人達の数は全国で約240万人前後の若者又は大津町でも700名位の人達が誕生する事になります。若い世代の人達の投票率を統計的に見た時、中高層に対しても投票率が非常に低く選挙に対する関心度が薄い状態となつております。私達大人もどうしたら若い

9月16日に傍聴しました。立派な議場で一般質問が整然と行われ、すばらしい内容でした。感じた事は、いつも議会だよりで拝見している議員が今日も登壇して発言していました。それ以上的事は詳しくはわかりませんが…。もつと多くの議員さんが質問に立つて頂きたいと思いました。

町民の会話の中に「今日の質問は町内の〇〇さんが質問されたのよ」

「今月の議会だよりに地域の議員が質問しとらずぞ」と興味をもち、期待され、信頼される議会になっていくのではないかと感じました。議員一人、一人は、懸命に地域でみんなのために働き、守つて下さってるんだし、そ

れだけの見識と力を備えていらっしゃると思います。議員の皆さんのが先を競つて意見を持ちより質問に立てば、町の全地域の皆さん、町議会を身近に感じて頂けるんでは

来年より18才以上に選挙権が与えられる事になりました。年々人口も増加し発展を重ねる大津町は全議員が更に一歩ふみ出す事を期待しております。
(敬称略)

もっと多くの議員に質問に立つて頂きたい

「今月の議会だよりに地

域の議員が質問しとらず

等々、国民は中々関心を

持ちません。しかし国会も県議会も町議会も全く

責任は同じです。むしろ

町議会は住民に近い分、

責任は重いのではない

ないでしょうか。

国会、県議会、町議会

等々、国民は中々関心を

持ちません。しかし国会

も県議会も町議会も全く

責任は同じです。むしろ